

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

ひまわり
咲き誇る向日葵の花 茎も葉も盛夏の花にふさわしく たくましい

教会からのオススメの一冊

「隣に座って」スキルス胃がんと闘った娘との11か月
中村佐知・著 (いのちのことば社発行)

今回ご紹介する一冊は、21歳の若さでスキルス胃がんを発症し、懸命にがんを闘い、命の最期を迎える娘のミホさんと、彼女を傍で支え、祈り、看取る母親の佐知さんの実録です。SNSやブログに投稿した内容を再編集したもので、切迫した感情に溢れた言葉が書き綴られています。その中には、苦しむ娘に正面から向き合い、付き添いながら、自らも苦しむ姿、そんな中であっても、周囲の方々の祈りと励ましによって、支えられ力付けられる姿が描かれています。そして、何よりも、聖書の言葉と祈りの言葉が至るところに記されており、嘆きも感謝も、



全て神様に向かってささげられていったことがわかります。

本書から一節を引用します。「ミホが激しい痛みの中で『どうして神様はこんなにも私のことを憎んでいるの?』と叫んだとき、私はとても切なかった。でも、

あとからそのことについて祈り、思いを巡らしていると、ミホのその叫びが十字架の上での『わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか?』というイエス様ご自身の叫びと重なった。誰よりもイエス様が、ミホの気持ちと痛みをご存知であられるのだ。そして、誰よりもイエス様が、ミホに寄り添い、ミホと一緒にその痛み苦しみを担ってくださっているのだ。」

愛する人が目の前で苦しむとき、また、自分が苦しむとき、私たちは「なぜ?」と叫びたくなります。でも、私たちよりも先にイエス様が「なぜ?」を叫んでくださいました。そして、そのイエス様が、今苦しむ目の前の愛する人や私に寄り添い、その苦しみを担ってくださるのです。

本書は、娘ミホさんの死によって幕を閉じます。しかし、その最期を看取った母は、天国で再会できる希望に溢れて筆を置きます。聖書にこうあります、「死は勝利に呑み込まれた。死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。死よ、おまえのとげはどこにあるのか」。イエス様を信じる者にとって、死は終わりではないのです。イエス様を通して、永遠の命の約束が与えられるからです。

● 幼子祝福式

6月は、もう一つうれしいことがありました。幼児祝福式です。神様と多くの人たちに愛されて、元気に育ってほしいと、祝福の祈りがささげられました。



● 教会のひとこま ● 花の日訪問

今年も6月の花の日に子どもたちと一緒に、近くの交番と消防署に日頃の感謝を込めて、お花をお届けしとても喜んでいただきました。そこでお仕事の内容を聞くこともできました。本物の消防自動車に乗せてもらって、子どもたちは大喜びでした。



森繁 昇サマーコンサート Vol.20

8/27(日) 15:00～ 会場・当教会 (入場無料)

今年も、森繁 昇さんのユーモラスなトークと、素敵な歌声をお届けします。ライブ配信も行います。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。



わたしたちは旧・統一協会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



あなたの幸せのために

私たちは誰でも幸せになりたいと願います。そのために、あらゆる努力をします。一生懸命働いてお金を貯めようとして、実績を上げて昇級しようとして、あるいは、わが子をいい学校に入らせ、一流企業に就職させて、自分が果たせなかった夢を実現しようとする親がいるかもしれません。

しかし、人間の努力ではどうにもならないことがあります。それどころか、せっかくながらばってやったのに、かえってマイナスになってしまった、ということもよくあります。そんなとき、自分の努力は何だったのかと、嫌になってしまいます。

聖書にこうあります。「イスラエルよ。今、あなたの神、主が、あなたに求めておられることは何か。それは、ただあなたの神、主を恐れ、主のすべての道に歩み、主を愛し、心を尽くし、いのちを尽くしてあなたの神、主に仕え、あなたの幸せのために私が今日あなたに命じる、主の命令と掟を守ることである。」(申命記10章12,13節)

ここに、私たちが幸福になるための条件が記されています。それは、神様を恐れ、神様を愛し、真実を尽くして神様の言葉に従っていくことだと、言われています。たくさんの方が要求されているのでも、難しいことが求められているのでもありません。ただ、神様を信じて従って行くことだけなのです。

神様を信じるとは、神の子イエス・キリストの十字架を信じることです。キリストは、私たちの罪のために身代わりとなって十字架に命を捨てられました。私たちが罪を悔い改め、キリストの十字架を信じれば、全ての罪が赦され、私たちは救われます。この救いを得ることが、幸福になることの第一条件なのです。

あなたが本当に幸せになりたいと思われるなら、ぜひ、神様をお信じになってください。私たちのために神の子キリストをお送りくださった神様は、真実なお方です。求めてくる者を、むなしく帰らせるということはありません。



「グンナイフウロ」－郡内風露－

夏がぐんぐん近づいて来ている
山を歩きながら伝わってくる 風と光の感触だ
霧ヶ峰の八島湿原で見つけたのは グンナイフウロ

フウロソウの仲間は 日本各地で生えていて
花の美しい種類が多い 山野草である
高山に生える ハクサンフウロや チシマフウロ
グンナイフウロは 山梨県東部の郡内地方 甲斐の国で発見された

花の時期の終わりの頃であったが
ピンク色の花は 花びら直径3cmぐらい
背たけも30cmぐらいの 小さな花である
花弁は後ろに反り 雄しべ 雌しべが突き出ている
グンナイフウロは 花が咲くとき 横を向いて咲くのだ
花も 意志をもっているかのように見えてくる

物言わぬ草花だが 心をこめて眺めてあげよう
最後まで 命をまっとうできるように

ああ 渴いている者はみな
水を求めて出て来るがよい 金のない者も
さあ 穀物を買って食べよ

イザヤ55章(聖書)